

水稻・麦・大豆栽培情報 9月号－2

平成 27年 9月 24日
J A 柳 川
南筑後普及指導センター

【水稻】

1 収穫時期

8月中下旬の曇雨天により、気温が平年に比べ低く推移したため、出穂期については、「元気つくし」で8月23日頃、「ヒノヒカリ」で8月30日頃で、ほぼ昨年並みで、平年より1～3日遅くなり、「ヒヨクモチ」で昨年より1日程度遅くなりました。また、出穂期以降も気温は平年より低く推移したため、収穫時期については、「元気つくし」で10月2日頃から、「ヒノヒカリ」で10月10日頃から、「ヒヨクモチ」で10月24日頃からになる見込みです（今後の気温が平年並みに推移した場合）。

品種	出穂期	収穫適期	収穫適期の目安
元気つくし	8月23日	10月2日～ 10月6日	黄化もみ比率
ヒノヒカリ	8月30日	10月10日～ 10月15日	70～80% もみ水分
ヒヨクモチ	9月9日	10月24日～ 10月30日	25%前後

- ※ 収穫適期は「元気つくし」は6月20日頃、「ヒノヒカリ」と「ヒヨクモチ」は6月24日頃移植したものの目安です。
- ※ 今後の気象条件により、収穫適期は前後することがあります。
- ※ 荷受けに際しては、各地区のCE計画に従って下さい。

2 水管理

玄米の充実を向上させるためには、できるだけ水を遅くまで与えることが重要です。収穫作業に支障のない範囲で、落水時期はできるだけ遅くするようにしてください。中干しの効いていないほ場や乾きが悪いほ場では、間断灌水を強めに行う等、収穫時期が近づく前までに、徐々に土を固くするような水管理を心がけましょう。

農薬使用上の注意

- 1 散布前に必ず農薬ラベル(農薬基準)を確認!
- 2 散布時には近隣作物や住宅街への飛散防止対策を徹底!
- 3 散布後は必ず散布器具(タンク、ホース等)を洗浄!
- 4 防除履歴の正確な記帳!